

DS5502

固定設置型スキャナ



ZEBRA

クイックスタートガイド

2025/02/13

ZEBRA および図案化された Zebra ヘッドは、Zebra Technologies Corporation の商標であり、世界各地の多数の法域で登録されています。その他のすべての商標は、該当する各所有者が権利を有しています。©2025 Zebra Technologies Corporation および/またはその関連会社。無断複写、転載を禁じます。

本書の内容は、予告なしに変更される場合があります。本書で説明するソフトウェアは、使用許諾契約または秘密保持契約に基づいて提供されます。本ソフトウェアの使用またはコピーは、これらの契約の条件に従ってのみ行うことができます。

法的事項および所有権に関する表明の詳細については、以下を参照してください。

ソフトウェア: zebra.com/informationpolicy.

著作権および商標: zebra.com/copyright.

特許: ip.zebra.com.

保証: zebra.com/warranty.

エンド ユーザー ソフトウェア使用許諾契約: zebra.com/eula.

使用の条件

所有権の表明

本書には、Zebra Technologies Corporation およびその子会社 (「Zebra Technologies」) に所有権が属している情報が含まれています。本書は、本書に記載されている機器の操作および保守を行うユーザーに限り、情報の閲覧とその利用を目的として提供するものです。当社に所有権が属している当該情報に関しては、Zebra Technologies の書面による明示的な許可がない限り、他の目的で利用、複製、または第三者へ開示することは認められません。

製品の改善

Zebra Technologies は、会社の方針として、製品の継続的な改善を行っています。すべての仕様や設計は、予告なしに変更される場合があります。

免責条項

Zebra Technologies では、公開されているエンジニアリング仕様およびマニュアルに誤りがないように、万全の対策を講じていますが、まれに誤りが発生することがあります。Zebra Technologies は、かかる誤りを修正する権利を留保し、その誤りに起因する責任を負わないものとします。

責任の限定

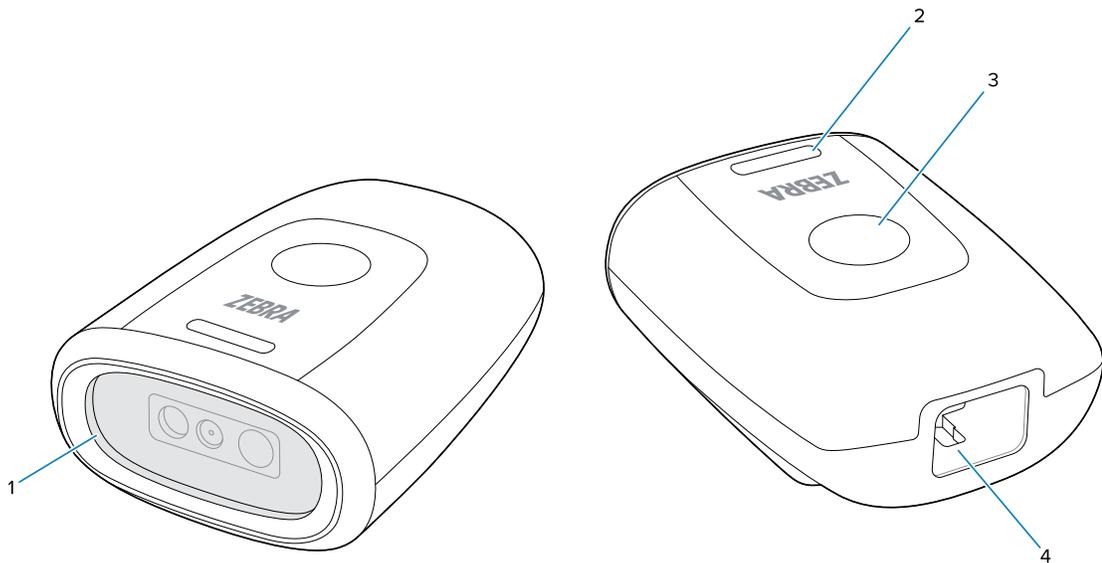
業務の逸失利益、業務の中断、業務情報の損失などを含めて、またはこれらに限定することなく、当該製品の使用、使用の結果、またはその使用不能により派生した損害に関しては、いかなる場合でも、Zebra Technologies、あるいは同梱製品 (ハードウェアおよびソフトウェアを含む) の開発、製造、または納入に関与したあらゆる当事者は、損害賠償責任を一切負わないものとします。さらにこれらの損害の可能性を事前に指摘されていた場合でも、損害賠償責任を一切負わないものとします。一部の法域では、付随的または派生的損害の除外または制限が認められないため、上記の制限または除外はお客様に適用されないことがあります。

ご使用の前に

DS5502固定設置型スキャナは、スタンドアロンアプリケーションとOEMアプリケーション専用に設計されています。スキャナは、ホストデバイスへのバーコードスキャンの統合が容易かつ柔軟で、しかも1D/2Dバーコードで高性能なスキャンを提供します。DS5502は、キオスク、組込み医療診断機器、製造環境のコンベアラインなど、さまざまな用途に最適です。DS5502は、小売POS環境で設置面積ゼロの2Dアレイのスキャンソリューションとしても使用できます。

スキャナの機能

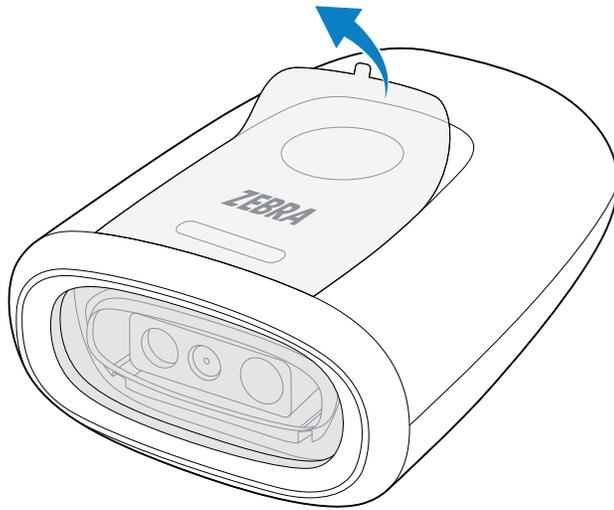
スキャナの主要機能のラベル図。



1	スキャナウィンドウ
2	LEDインジケータ
3	トリガーボタン
4	ケーブルインターフェースポート

保護フィルムの取り外し

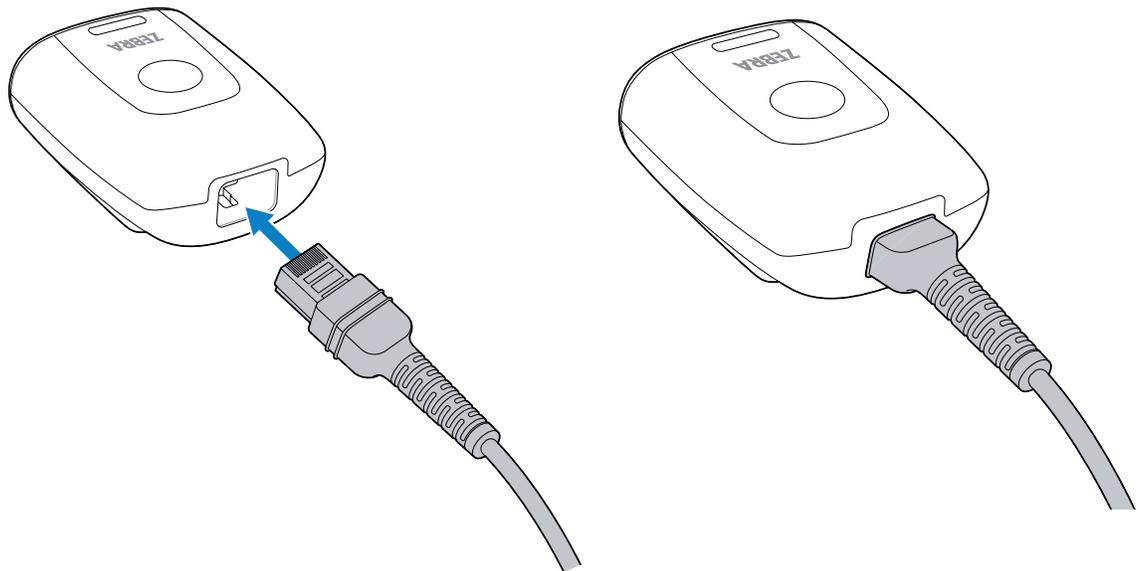
使用する前に、保護フィルムをデバイスから取り外してください。



ケーブルの接続

このセクションでは、スキャナへのケーブルの取り付けについて説明します。

1. ラッチを下に向けて、ラッチがカチッと音がるまでケーブルを差し込みます。

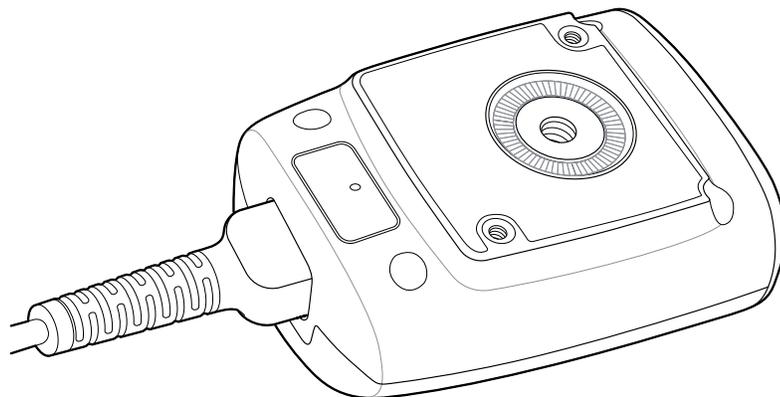


2. ケーブルのもう一方の端をホストコンピュータのUSBまたはRS-232ポートに接続します。詳細については、を参照してください[スキャナの接続](#) (21ページ)。

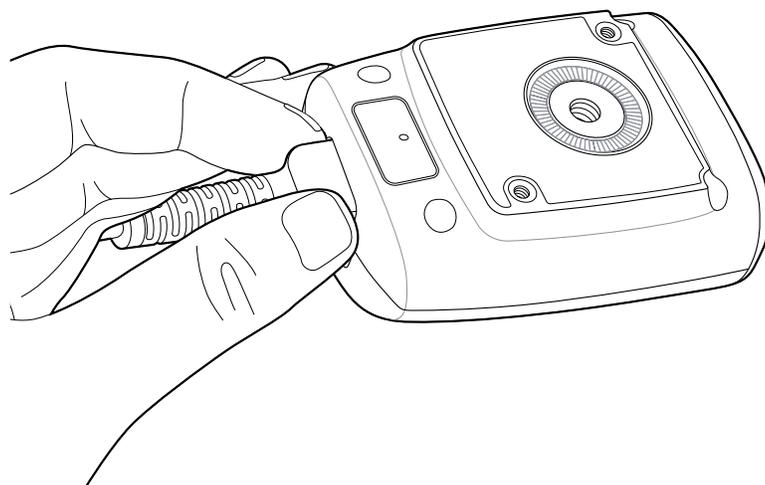
ケーブルの取り外し

このセクションでは、デバイスからケーブルを取り外す方法について説明します。

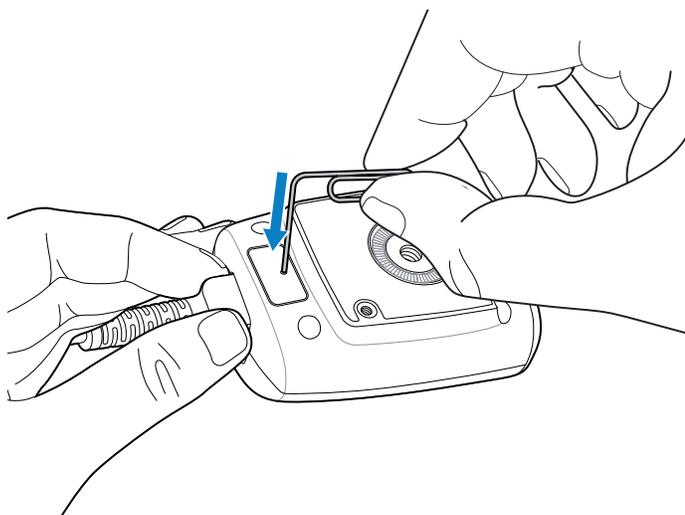
1. デバイスの背面を下にして、平らな面の上に置きます。損傷を防ぐため、柔らかい素材を下に敷いてください。



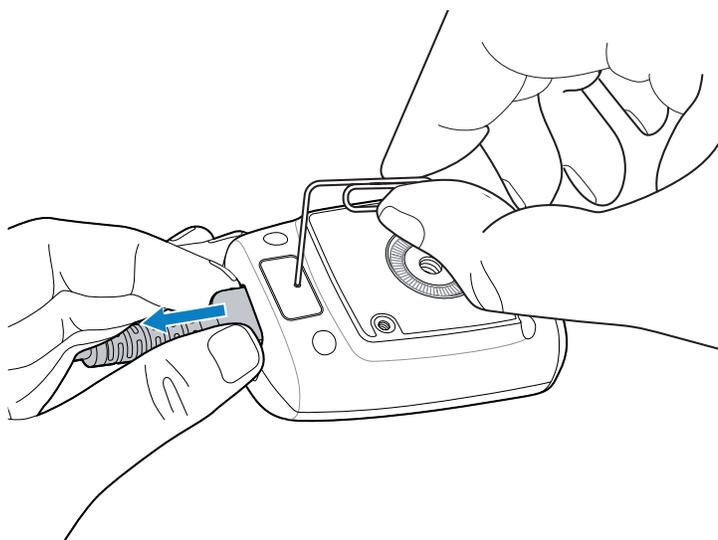
2. デバイスに指を押し付けながら、ケーブルの張力緩和部をつかみます。



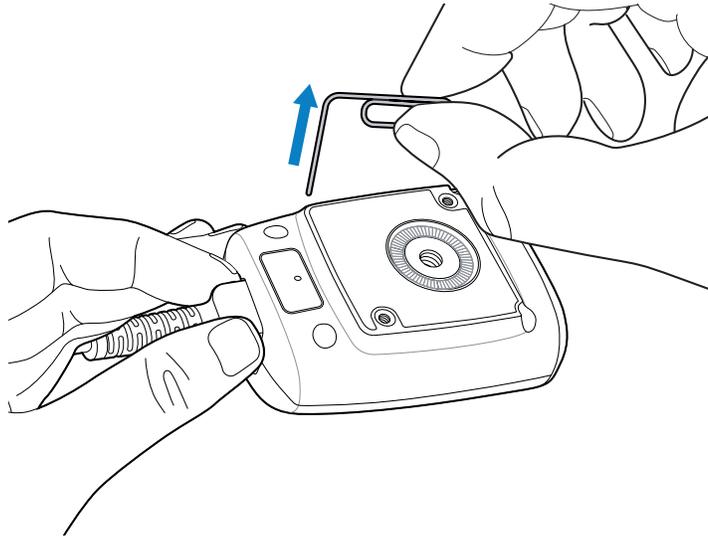
3. もう一方の手で、ピンホールにペーパークリップを挿入してケーブルラッチを押し下げます。



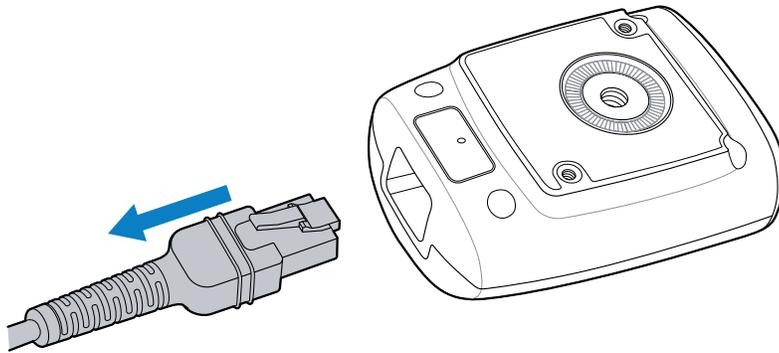
4. ケーブルを少しそっと引き出します。



5. ペーパークリップを引き抜きます。



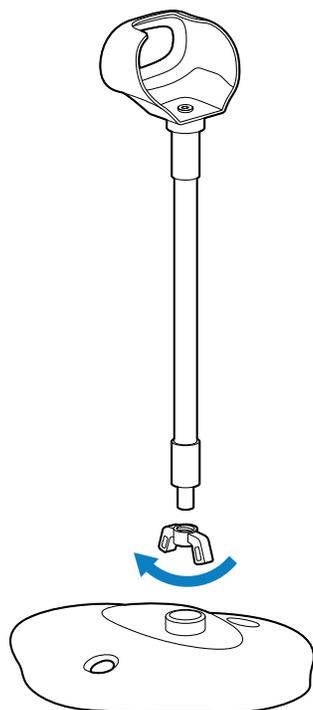
6. ケーブルを完全に取り外します。



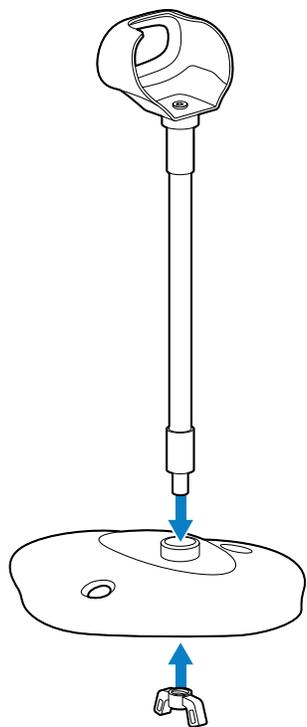
グースネックスタンドの使用

オプションのグースネックスタンドを使用してスキャナを取り付けます。

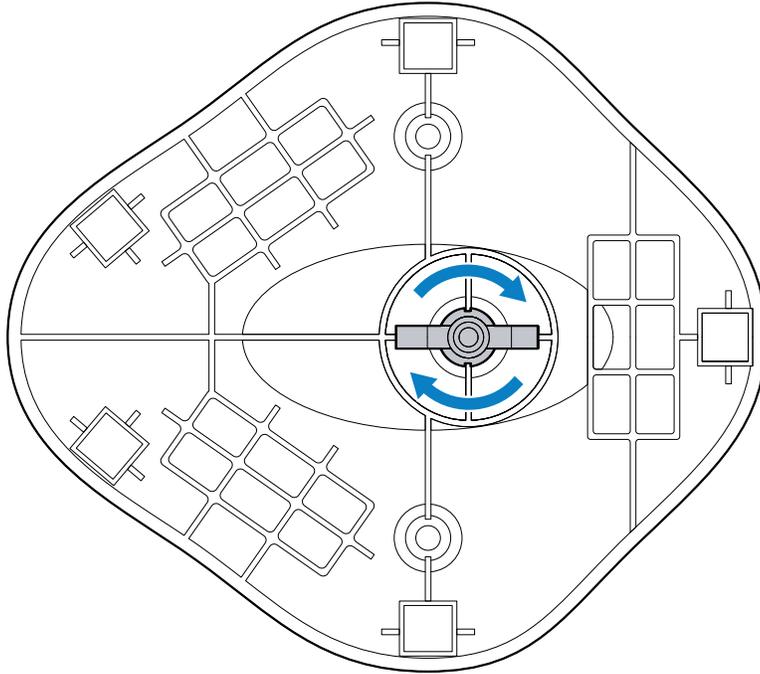
1. グースネックの底部にある蝶ナットを緩めます。



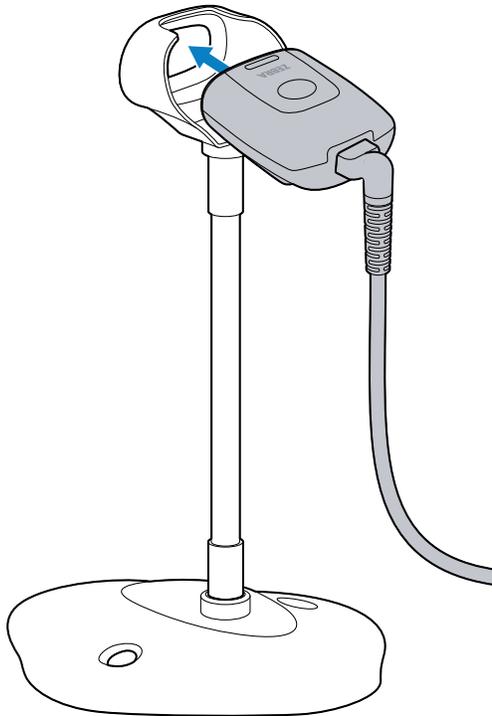
2. グースネックのネジ付きの端をベースに挿入します。



3. ベースの下側から、蝶ナットをネジで締めて、グースネックを固定します。



4. 電源ケーブルをスキャナに取り付け、スキャナをグースネックスタンドのカップに挿入します。



注：デバイスを卓上に取り付ける場合は、90度ケーブルを使用します。

ゲースネックスタンドの取り付け

スタンドのベースは、2本のネジで平らな面に取り付けることができます。

1. 組み立てたベースを平らな面上に置きます。
2. スタンドのベースが固定されるまで、10番の木ネジ（別売）を各ネジ取り付け穴にねじ込みます。

3in1マルチマウントの使用

オプションの3in1マルチマウントを使用して、スキャナを卓上、モニター、または壁（またはその他の垂直面）に取り付けます。マウントはプレゼンテーションスタンドとしても独立して機能します。

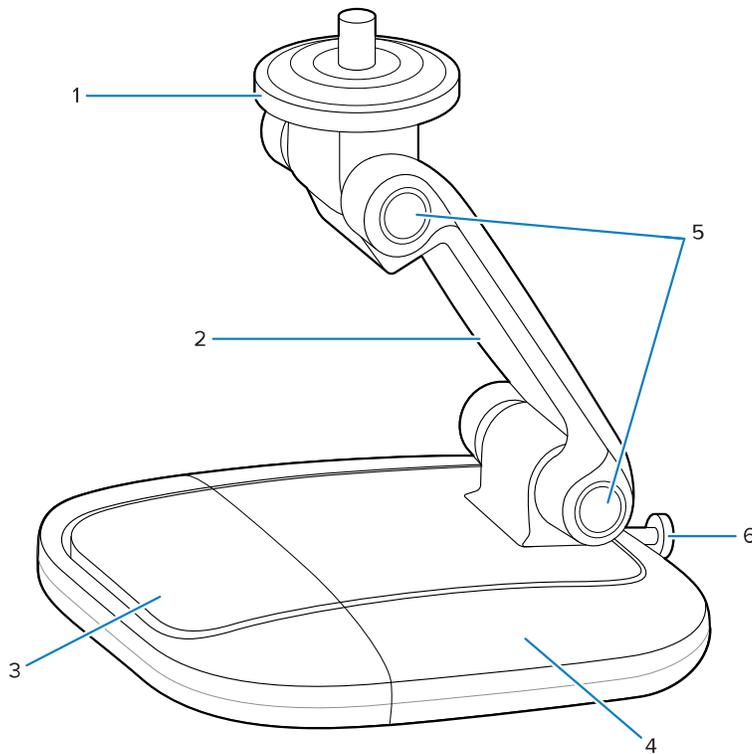


注：

スキャナを床から2m（6フィート5インチ）以上離して取り付けます。

3in1マルチマウント機能

3in1マルチマウントの主要機能のラベル図。



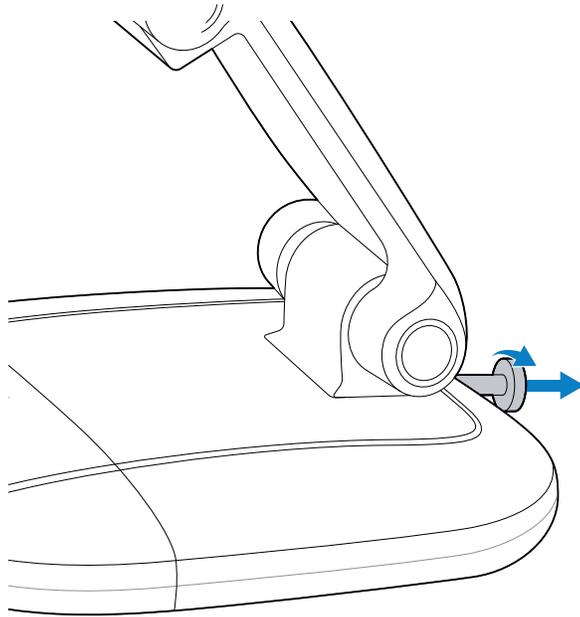
1	スイベルプレート
2	メインアーム
3	幅狭ベース
4	幅広ベース

5	ピボットジョイント
6	幅広ベースのネジ

幅広ベースの取り外し

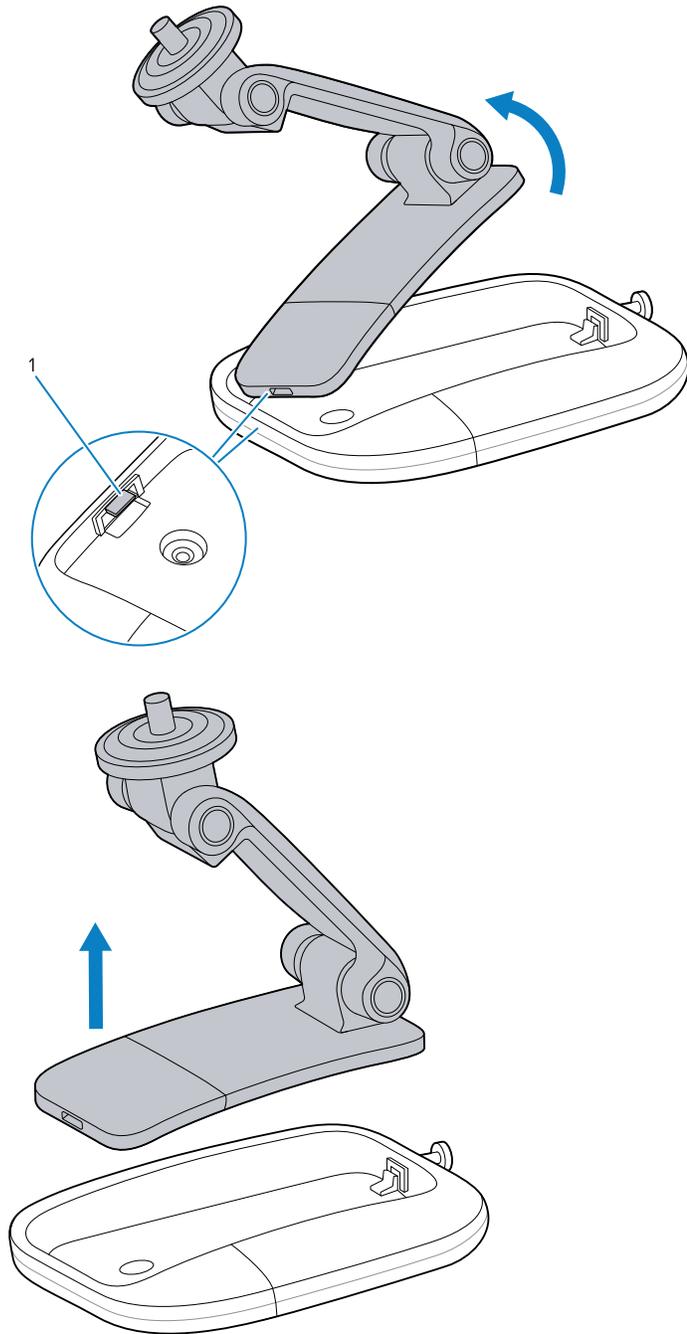
以下に、3in1マルチマウントから幅広ベースを取り外す方法について説明します。

1. プラスのドライバを使用して、幅広ベースの後部にあるネジを完全に緩め、幅狭ベースに取り付けられていないことを確認します。



2. 片手でメインアームをつかみ、もう一方の手で幅広ベースを押し下げます。

- 幅狭ベースを旋回して、幅広ベースのノッチ(1)から離し、持ち上げます。



プレゼンテーションスタンド

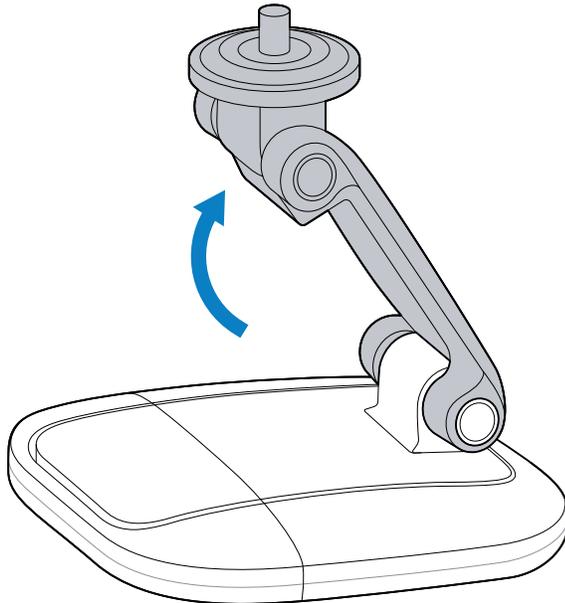
プレゼンテーションスタンドとして3in1マルチマウントを使用するには、次の手順に従います。

1. ケーブルをスキャナに接続します。詳細については、[ケーブルの接続](#) (4ページ) を参照してください。

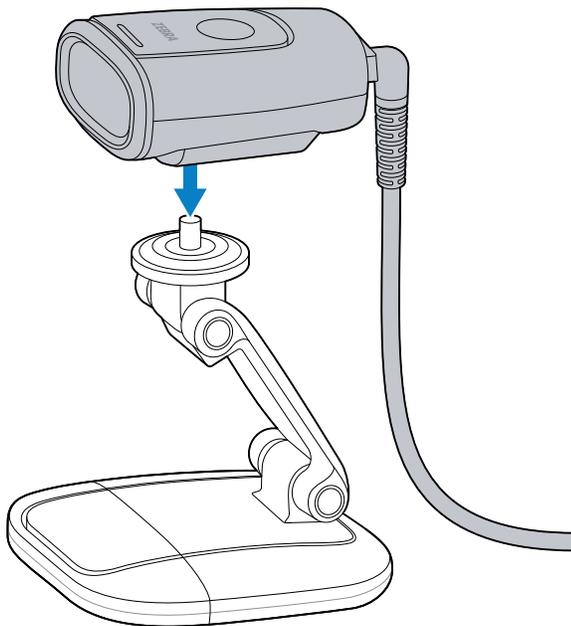


注: デバイスをプレゼンテーションスタンドに取り付ける場合は、90度ケーブルを使用します。

2. ピボットジョイントを目的の位置に調整します。



3. スキャナを上部スイベルプレートに取り付け、必要に応じてスキャナウィンドウを下に向けます。



デバイスは磁気スイベルプレートによって所定の位置に保持されます。

プレゼンテーションスタンドは、幅広ベースを使用せずに機能させることもできます。詳細については、[幅広ベースの取り外し](#)（11ページ）を参照してください。

プレゼンテーションスタンドの取り付け

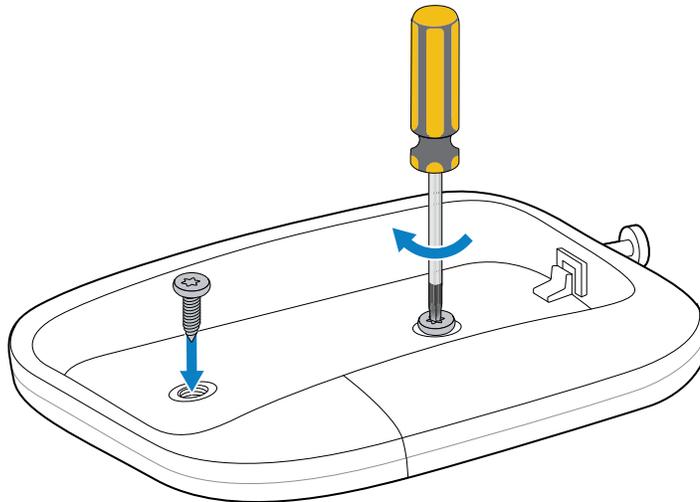
プレゼンテーションスタンドを卓上に取り付けることができます。

1. ケーブルをスキャナに接続します。

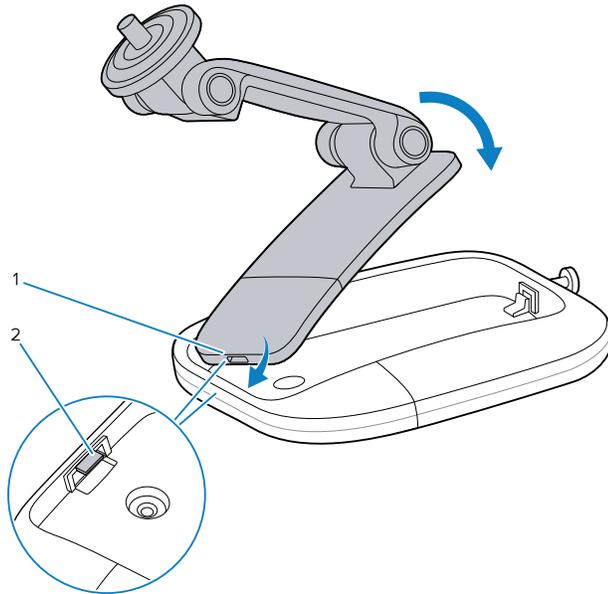


注：デバイスを卓上に取り付ける場合は、90度ケーブルを使用します。

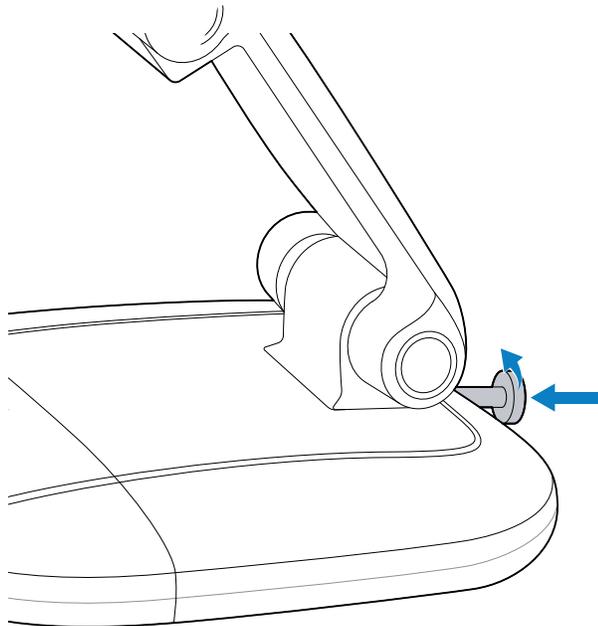
2. 幅広ベースを3in1マルチマウントから取り外します。詳細については、[幅広ベースの取り外し](#)（11ページ）を参照してください。
3. 幅広ベースを平らな卓上面に置きます。
4. 各ネジ穴に6番の木ネジ（別売）を挿入し、ネジを締めて幅広ベースを卓上に固定します。



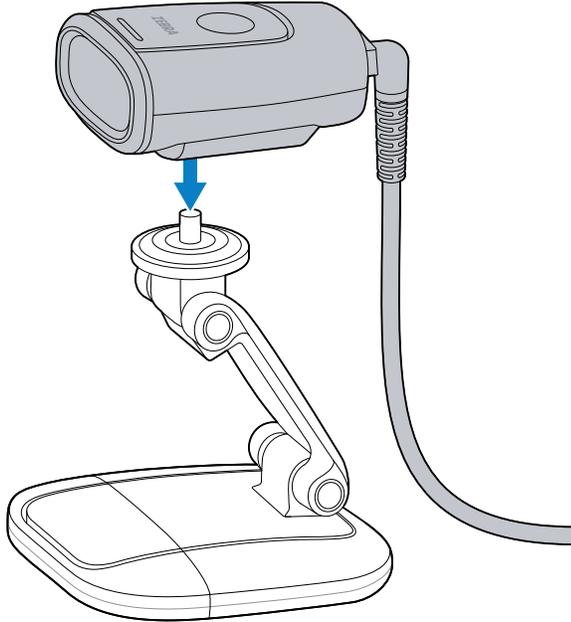
- 幅狭ベース(1)を旋回して幅広ベースの切れ込み(2)に差し込み、幅狭ベースを幅広ベース内へ完全に押し下げます。



- プラスのドライバーを使用して、幅広ベースのネジを締めて、幅広ベースに幅狭ベースを固定します。



7. スキャナを上部スイベルプレートに取り付けます。



壁面取り付け

3in1の幅広ベースはウォールマウントとして機能し、デバイスを壁面に取り付けることができます。

1. 幅広ベースを3in1マルチマウントから取り外します。詳細については、[幅広ベースの取り外し](#) (11ページ) を参照してください。
2. 幅広ベースを取り付ける壁の位置をマークします。

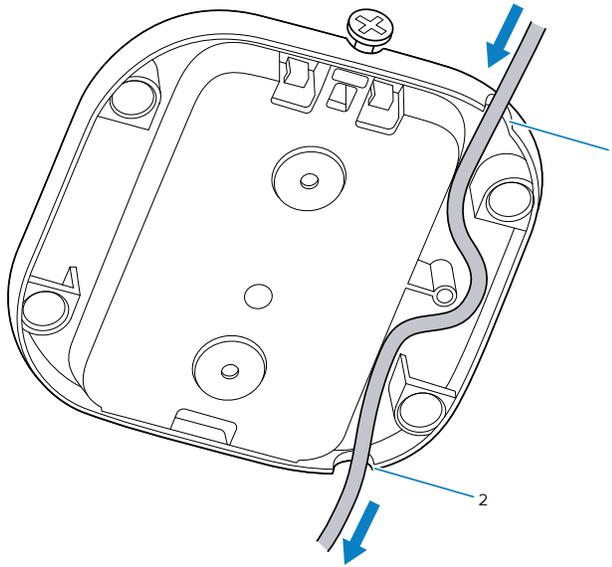
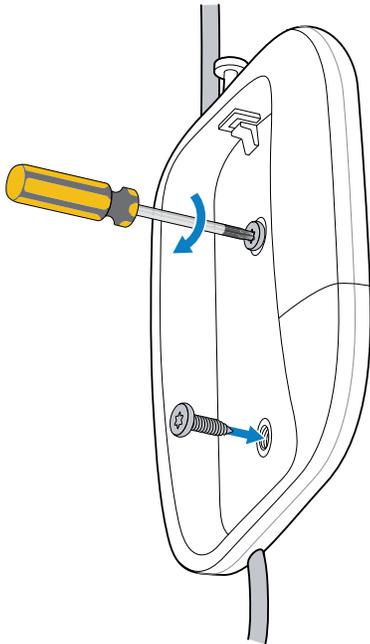


注: スキャナを床から2m (6フィート5インチ) 以上離して取り付けます。

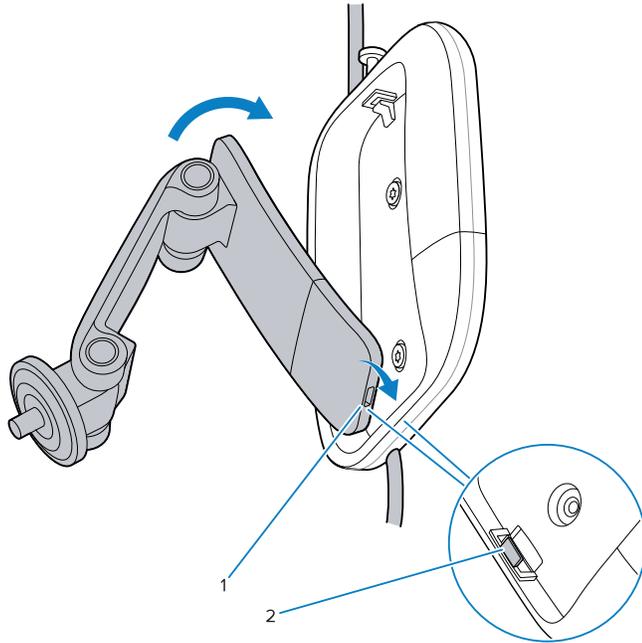
3. ケーブルを幅広ベースに取り付けます。

注： デバイスを壁面に取り付ける場合は、ストレートケーブルを使用します。

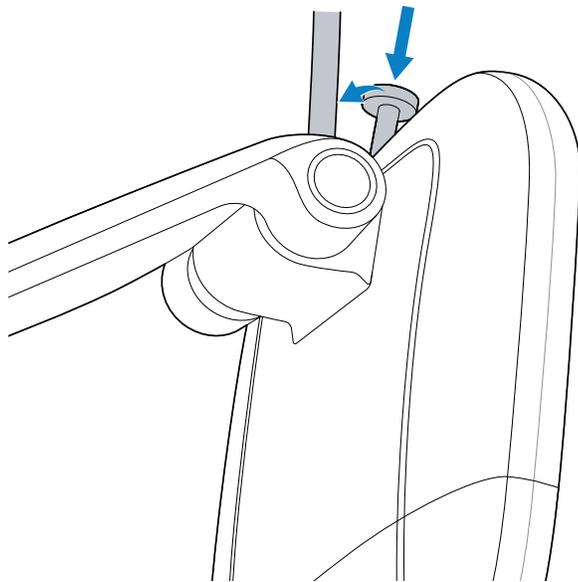
- a) ケーブルコネクタを、幅広ベースのネジの横にある上部のDカットアウト(1)に通します。
- b) 幅広ベースの端に沿ってケーブルを下向きに通し、反対側の端のDカットアウト(2)から引き出します。

**4. ケーブルを取り付けた状態で、幅広ベースを壁の所定の位置に保持し、幅広ベースの各ネジ穴に6番の木ネジ（別売）を挿入して締めます。**

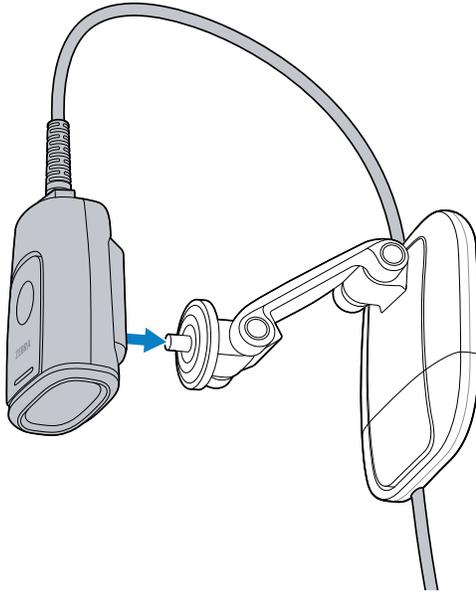
- 幅狭ベース(1)を旋回して幅広ベースの切れ込み(2)に差し込み、幅狭ベースを幅広ベースに完全に挿入します。



- プラスのドライバを使用して、幅広ベースのネジを締めて、幅広ベースに幅狭ベースを固定します。



7. 電源ケーブルをスキャナに接続し、スキャナを上部スイベルプレートに取り付けます。



8. 必要に応じて、スキャナウィンドウを下に向けます。

モニターマウント

このセクションでは、3in1マルチマウントをモニターに取り付ける方法について説明します。

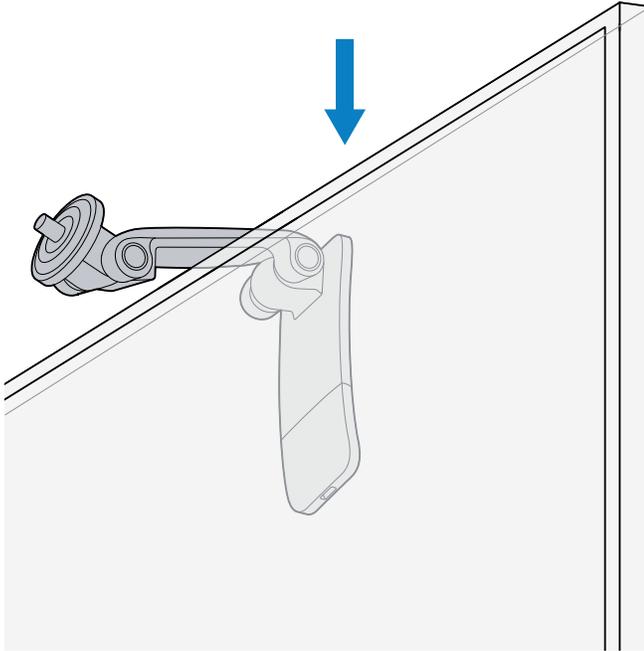
1. ケーブルをスキャナに接続します。詳細については、[ケーブルの接続](#) (4ページ) を参照してください。



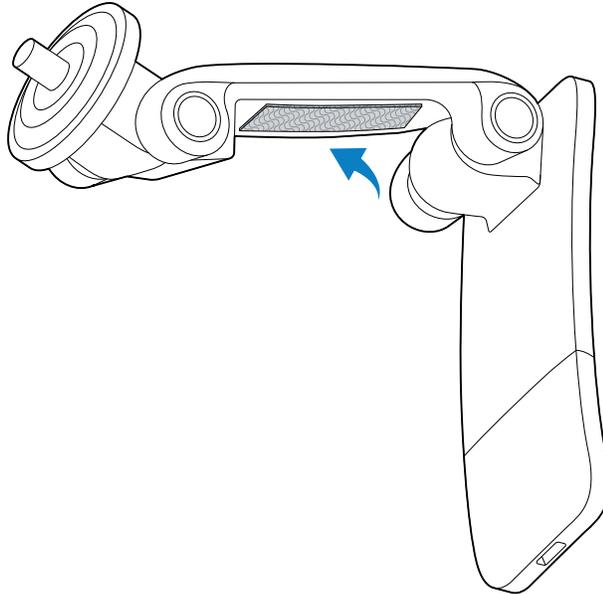
注: デバイスがモニター取り付け型の場合、90度ケーブルを使用します。

2. 幅広ベースを3in1マルチマウントから取り外します。詳細については、[幅広ベースの取り外し](#) (11ページ) を参照してください。

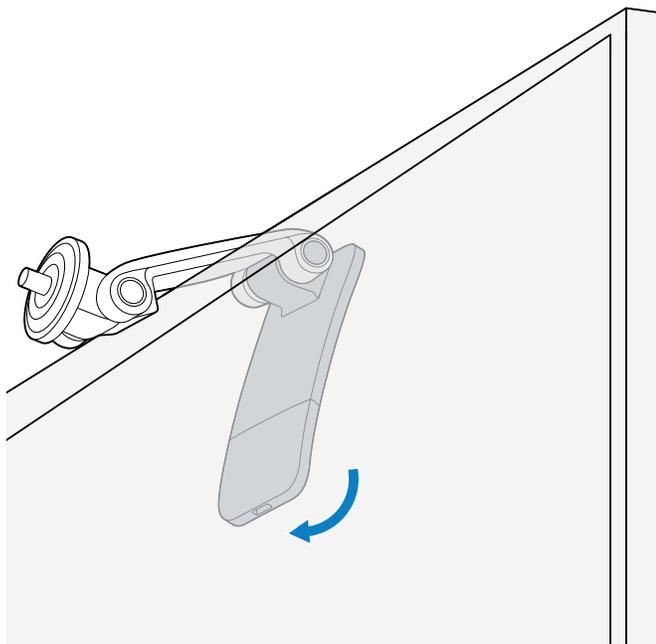
3. メインアームを広げて、フックを前面に向け、ベースを背面に向けた状態でモニターの上に置きます。



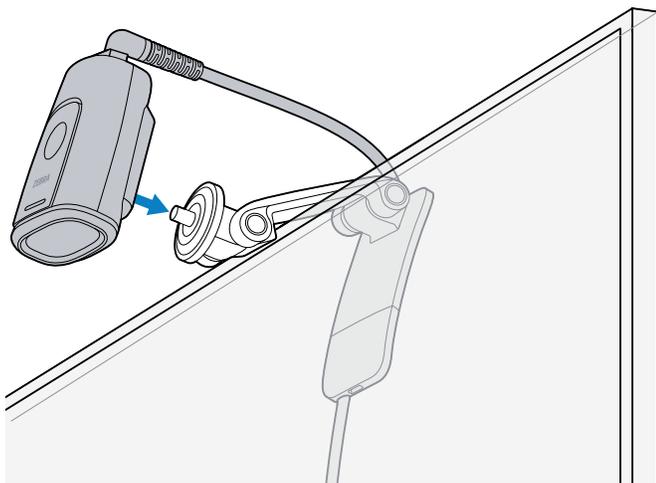
- a) オプションとして、Zebraが提供する粘着テープをアームの内側またはモニターの上部に貼り付けて、つかみを強化することもできます。



4. メインアームがモニターをしっかりとつかむまで、そっと閉じます。



5. スキャナを上部スイベルプレートに取り付け、必要に応じてスキャナウィンドウを下に向けます。



注：ケーブル管理には、粘着式ケーブルクランプ（別売）をお勧めします。

サードパーティ製取り付け用アクセサリ

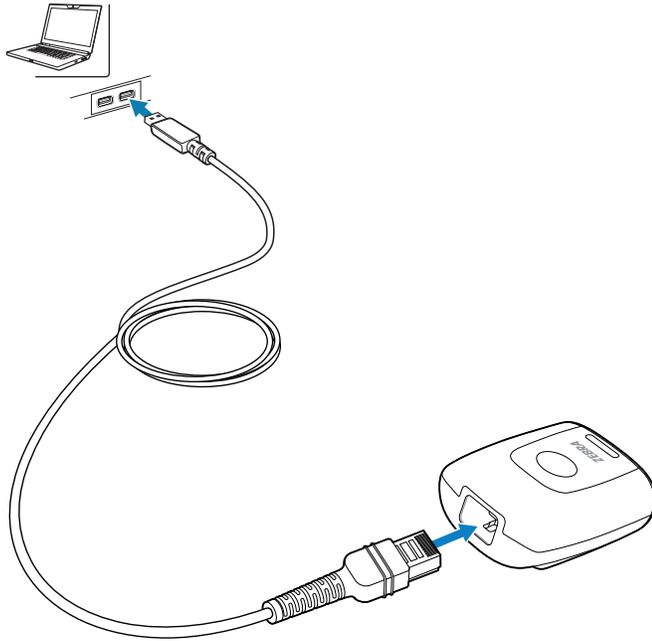
スキャナは、標準の1/4インチ ネジ付きボルト（1/4-20 UNC）を備えたサードパーティ製アクセサリ（三脚など）と互換性があります。サードパーティ製デバイスのユーザーガイドを参照してください。

スキャナの接続

スキャナは、USBまたはRS-232コネクタを使用してホストのインターフェースに接続します。

USB接続

1. インターフェースケーブルをスキャナに差し込みます。詳細については、[ケーブルの接続](#)（4ページ）を参照してください。
2. USBコネクタをホストのインターフェースの適切なポートに差し込みます。

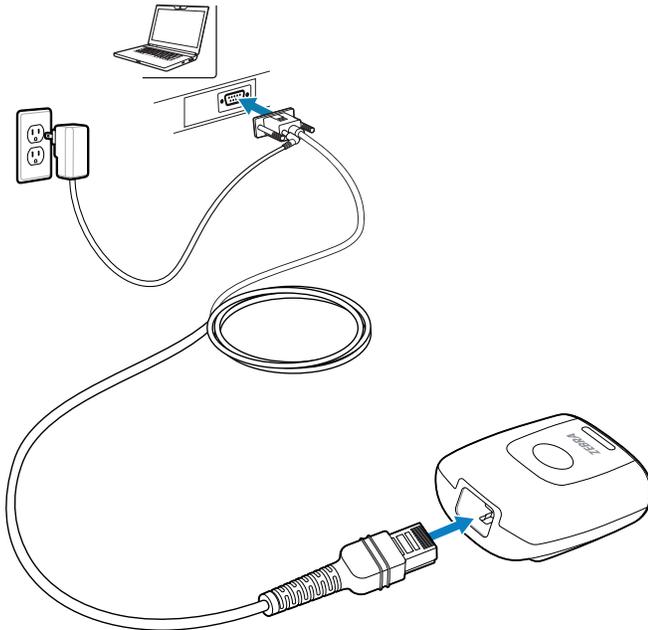


3. すべての接続をチェックして、安全であることを確認します。

RS-232の接続

1. インターフェースケーブルをスキャナに差し込みます。詳細については、[ケーブルの接続](#)（4ページ）を参照してください。

2. RS-232コネクタをホストのインターフェースの適切なポートに差し込みます。



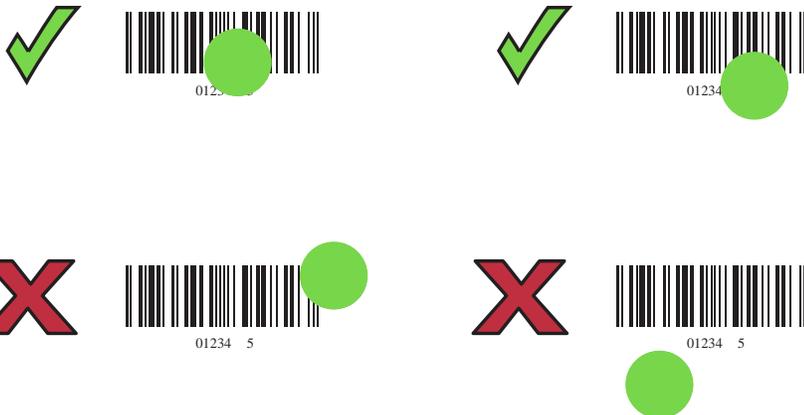
3. すべての接続をチェックして、安全であることを確認します。

デバイスの照準

スキャン時に、デバイスは照準パターンを投影し、読み取り範囲内にバーコードを配置できるようにします。必要であれば、スキャナはLEDをオンにして、対象のバーコードを照射します。

バーコードをスキャンするには、シンボルを中央に置き、シンボル全体が照射LEDによって形成される長方形の領域内にあることを確認します。中央から外れていても、スキャナは、照準パターン内に存在するバーコードを読み取ることもできます。下の画像は、読み取りを成功させるための適切なLEDの配置を示しています。

図1 照準パターン



照準ドットは、スキャナがバーコードに近づくと小さくなり、遠くなると大きくなります。小さいバーやエレメントがあるバーコードのスキャンは、スキャナに近づけ、大きなバーやエレメントがあるバーコードのスキャンではスキャナから遠ざけます。

スキャナは、バーコードを正常に読み取るとビープ音を鳴らします。ビープ音とLEDの意味の詳細については、[スキャナの表示](#) (26ページ) を参照してください。

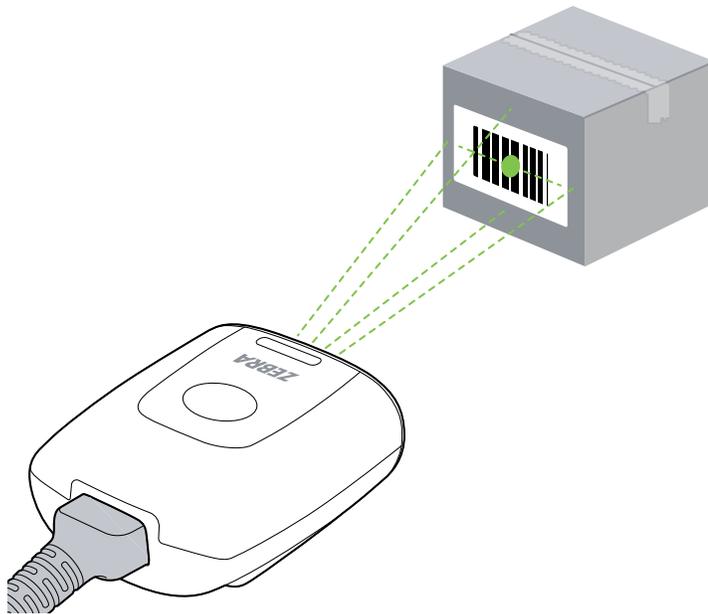
プレゼンテーションモードでのスキャン

アイドル状態のプレゼンテーションモード（デフォルト）では、スキャナはオブジェクト検出モードで動作し、自動的にウェイクアップして、読み取り範囲に存在するバーコードをデコードします。オブジェクト検出モードでは、照明のLEDが薄暗く点灯するのは正常です。



注: または、デバイスをシーン検出モードを使用するように設定します。このモードでは、デバイスは照明をオフ（低照明シーンの検知）に保ち、アクティブなデコード状態（モーション検出モード（ウェイクアップ））でのみオンにします。。詳細については、『DS5502プロダクトリファレンスガイド』を参照してください。

1. すべてのコネクタがしっかり接続されていることを確認してください。
2. スキャナの読み取り範囲内にバーコードを提示します。
3. デコードが成功すると、スキャナはビープ音を鳴らし、LEDが1回緑色に点滅します。



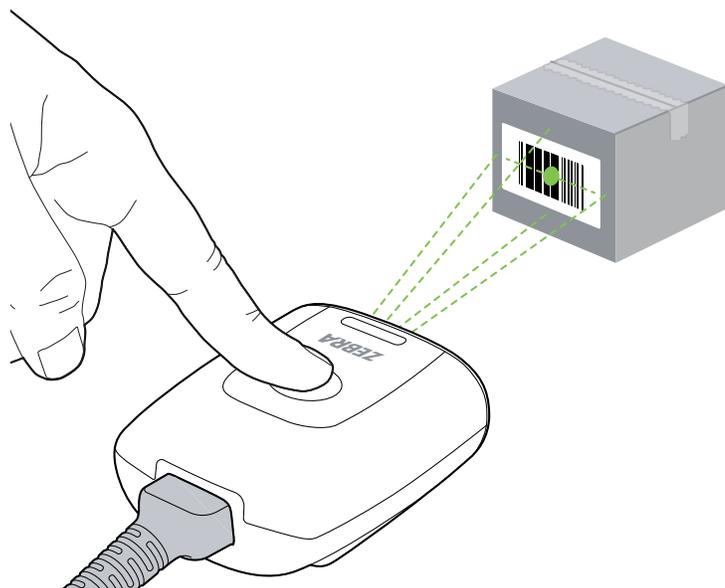
シーン検出モードでは、デバイスは消灯状態を維持して、このモードからアクティブなデコード状態に移行したときにのみ点灯します。

トリガーモードでのスキャン

デバイスの内蔵トリガーを使用して、トリガーモードでバーコードデータを読み取ります。

1. すべてのコネクタがしっかり接続されていることを確認してください。
2. スキャナをバーコードに向けます。
3. トリガーボタンを押し続けます。

- デコードが成功すると、スキャナはピープ音を鳴らし、LEDが1回緑色に点滅します。



プログラミングバーコード

このセクションでは、DS5502のプログラミングで頻繁に使用されるバーコードについて説明します。

工場出荷時のデフォルト設定

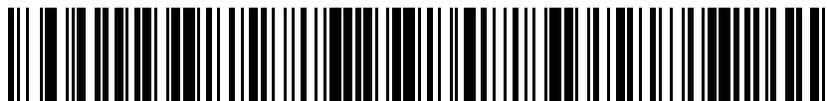
スキャナをデフォルトの設定に戻すには、次のバーコードをスキャンします。



工場出荷時のデフォルトに戻す

Tabキーの追加

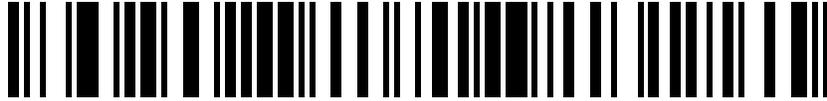
スキャンされたデータ後にTabキーを追加するには、以下のバーコードをスキャンします。



Tabキーの追加

Enterキーの挿入

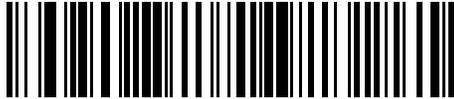
スキャンされたデータの後にEnterキーを追加するには、以下のバーコードをスキャンします。



Enterキーの挿入

USB Caps Lockオーバーライド

Caps Lockキーの状態に関係なく、データの大文字小文字を保持するには、バーコードの「Caps Lockキーをオーバーライドする（有効）」をスキャンします。デフォルト(*)は無効です。



Caps Lockキーをオーバーライドする（有効）



*Caps Lockキーをオーバーライドしない（無効）

123Scan

123Scanは、スキャナのカスタムセットアップをバーコードまたはUSBケーブル経由で迅速かつ簡単に行える、使いやすいPCベースのソフトウェアツールです。詳細については、zebra.com/123scanを参照してください。

ユーティリティ機能

- ・ デバイス構成
 - ・ 電子プログラミング（USBケーブル）
 - ・ バーコードのプログラミング
- ・ データ表示 - スキャンログ（スキャンされたバーコードデータを表示）
- ・ 資産追跡情報にアクセス
- ・ ファームウェアのアップグレードとリリースノートの表示
- ・ リモート管理（SMSパッケージ生成）。

スキャナの表示

このセクションでは、ビープ音とLEDの表示について説明します。

表1 スキャナの表示

LED	トーンシーケンス	説明
緑色（点灯）	低音→中音→高音	スキャナに電源が供給されています。

表1 スキャナの表示 (Continued)

LED	トーンシーケンス	説明
ハンズフリー（プレゼンテーション）スキャン： 緑色のLEDが点灯し、デコード後に消灯します。	中程度のビーブ音（または設定通り）	デコード成功。
ハンドヘルドスキャン： LEDが消灯しています。デコード時に緑色になります。		
緑色（連続点滅）	低音	スナップショットが開始されました。
赤（点灯）	なし	スキャナエラー。
赤色（連続点滅）	なし	新しいソフトウェアのフラッシュ。

トラブルシューティング

このセクションでは、スキャナのトラブルシューティングについて説明します。

問題	考えられる原因	考えられる解決方法
緑色のLEDが点灯しないか、スキャンを試みてもまったく反応がない。	スキャナに電源が供給されていません。	システムの電源を確認します。
		電源を接続します。
		ケーブルを接続し直してください。
スキャナがバーコードを読み取れない。	インターフェース／電源ケーブルが緩んでいます。	ケーブルを接続し直してください。
	スキャナが正しいバーコードタイプに対応するようにプログラムされていません。	スキャナを、読み取るバーコードのタイプを読み取るようにプログラムしてください。
	通信パラメータが正しくありません。	正しい通信パラメータ（ボーレート、パリティ、ストップビットなど）を設定します。
	バーコードシンボルを読み取れません。	シンボルが消えていないことを確認します。 同じバーコードタイプのシンボルをスキャンしてみてください。
照明と照準パターンが表示されない。	動作環境の温度が高くなっています。	その環境からスキャナを取り除き、クールダウンさせます。
LEDがアクティブになった後、ビーブ音シーケンスが続く。	ビーブ音が設定されています。	ビーブ音の説明については、 スキャナの表示 （26ページ）を参照してください。
 注： 上記のチェックを実行してもシンボルをデコードできない場合は、ディストリビュータまたはZebraグローバルカスタマーサポートにお問い合わせください。		

